

2025-26
第28回例会

2026.4.8



国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区

福島南ロータリークラブ会報

会員 75 名中 36 名出席 48% 修正 61 名 81.33%メイクアップ 25 名
例会会場/ウエディング・エルティ 水曜日 18:00~

◆会長あいさつ 菊地和宏会長

皆さんこんにちは。本日は春爛漫の福島南ロータリークラブへようこそお越し下さいました。まずはご来訪の皆さまをご紹介致します。(※別紙)

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、先月から今月にかけて、東京麹町ロータリークラブの皆さまには、神田明神の観桜会、当クラブ 55 周年記念式典・祝賀会、そして本日の観桜会、さらに福島原発視察と、何度も福島に足を運んでいただきました。心より御礼申し上げます。

特に 55 周年では、若林 PG をはじめ、皆さまから温かいお言葉を頂戴し、式典を開催して本当によかったと感じております。改めて感謝申し上げます。

少しだけ真面目な話を致します。

ロータリーの例会出席は「義務」と言われますが、私は“顔を出す回数こそ信頼の源”だと思っています。同じ顔を何度も見るうちに、心が開き、気づけば強い絆ができています。これはビジネスでも人間関係でも同じです。

ロータリーには奉仕という共通の目的がありますが、同時に“人とのつながり”という大きな財産があります。

チャンスは、参加している人にしか訪れません。

まめに顔を出す人ほど、チャンスの神様は、気にかけてくれるそうです。

来ていない人は、残念ながら“思い出されない人”になってしまうわけです。

今や世の中は AI 全盛の時代です、AI があればほとんどの事は解決するするような錯覚に陥っているように思います。

しかし「奉仕と親睦」、そして「人と人との絆」は、AI ではなく DI、つまり“出会い”でしか生まれません。

ロータリー活動は AI ではなく、DI があるからこそできるのです。

どうぞ今日は、東京麹町 RC の皆さまとの DI に感謝し、そして“和気アイアイ”と楽しんでまいりましょう。以上、会長挨拶と致します。本日もどうぞ宜しくお願い致します。



東京麹町ロータリークラブ

吉田弘和副会長

◆観桜会

